

令和6年度 広島県医師会女性医師部会総会

—夫婦別姓についてのアンケート集計結果を報告—

と き 令和7年3月1日(土) 午後3時

と ころ 広島県医師会館 301会議室



広島県医師会 副会長 岩崎 泰政
広島県医師会 常任理事 檜山 桂子



講演中の豊田章宏先生(左)と座長の石田万里女性医師部会部会長(右)

令和6年度広島県医師会女性医師部会総会を開催し、令和6年度活動報告ならびに昨年12月に実施した「夫婦別姓についてのアンケート」の集計結果報告を行った。講演会では中国労災病院治療就労両立支援センター所長の豊田章宏先生より「働き方改革における治療と仕事の両立支援の意義」と題する講演をいただいた。参加者は27名であった。なお、日本医師会認定産業医研修(1単位)も兼ねて実施した。

挨拶(要旨)

広島県医師会副会長 岩崎 泰政

医師不足や医師の偏在を生じさせないで、持続可能な医療提供体制を維持するためには、男女問わずワークライフバランスを確保しながら、長く活躍できる環境づくりが求められる。これには官学民一体となったオール広島で取り組まなければならない。当会で設置している保育サ

ポーターバンクをはじめとした、さまざまな支援制度を活用していただきたい。

広島県医師会女性医師部会部会長
石田 万里

女性医師部会としては、女性医師の働き方を考えるとともに、医師全体の働き方の問題点を挙げ、それに対する解決策を検討していければ

と考えている。これからも引き続き、先生方のご意見を部会にお寄せいただきたい。

報 告

令和6年度広島県医師会女性医師部会活動報告

広島県医師会常任理事 檜山 桂子

令和6年度、女性医師部会では、医学生、研修医そして医師が自身のキャリアやワークライフバランスを実現するための情報・ヒントを提供する目的で「医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会」「医学生、研修医等をサポートするための会」「Women's Café」「医学生と医師のお茶会（地域における女性医師支援のための会）」などを開催した。「広島県医師会保育サポーターバンク」は、登録したサポーターと支援を必要とする女性医師などのマッチングを行い、子どもの預かり、送迎、家事支援などを行うものであり、平成30年の開始から延べ34件マッチングしている。

昨年12月に実施した「夫婦別姓についてのアンケート」の集計結果は、夫婦別姓の問題について過半数の方が「関心あり」と回答しており、関心のない方の3倍にも上った。また、自由記載回答が数多く寄せられ、女性医師の夫婦別姓に対する関心の高さをうかがわせた。(別掲集計結果)

講 演

働き方改革における治療と仕事の両立支援の意義

中国労災病院治療就労両立支援センター 所長
豊田 章宏

治療と仕事の両立支援とは「病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治

療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられる社会を目指す取り組み」である。

日本人のおよそ2人に1人ががん、6人に1人が脳卒中を経験し、糖尿病予備軍は約2,000万人であることを考えると、1つの会社の中で、これに当てはまる人はゼロとは考えがたく、両立支援は他人事とは言えない。両立するためのポイントは、労働者、職場、医療機関の3つをどううまくバランスを取って落としどころを見つけるかということになる。このトライアングルをしっかりとサポートするため、両立支援コーディネーターの養成も厚生労働省のカリキュラムで行われている。

担当常任理事コメント

女性医師支援のみを推進すると、男性医師からの共感は得られにくい。1割にも満たない子育て中の女性医師を9割の男性医師が支える時代は終わり、男女ともにワークライフバランスが保たれる働き方が必要とされる。病気を患っても就労の継続を望む労働者に、治療と仕事を両立できるように支援することは、その理にかなっており、取り組むべき課題と考えられた。

夫婦別姓についてのアンケートでは、回答した女性医師の8割以上が夫婦別姓も選択できるほうが良いと答えており、2割以上が実際に旧姓も使用していた。女性医師は、一般職と異なり名字が変わると論文検索されないなど、キャリア形成上の不利益も生じ得る。自由記載欄には改姓に関わる多くの経験談や意見も書きこまれ、女性医師にとって関心の高い問題であることを認識させられた（この場をお借りしてアンケートへの真摯なご協力に感謝します）。今年度は、同じアンケートを男性医師にもご協力いただき、結果を比較したい。

(檜山 桂子)

夫婦別姓についてのアンケート 集計結果

調査対象 広島県医師会会員の女性医師

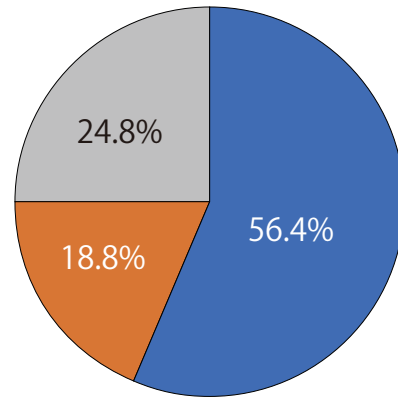
配付数 1,447名

回答数 330名

回答率 22.8%

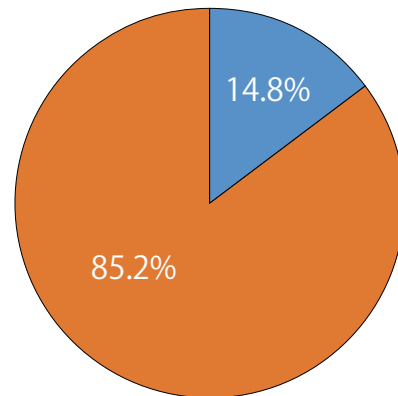
質問1：あなたは夫婦別姓について関心がありますか。

		件数	割合(%)
1	関心がある	186	56.4
2	関心がない	62	18.8
3	どちらともいえない	82	24.8
	計	330	100.0



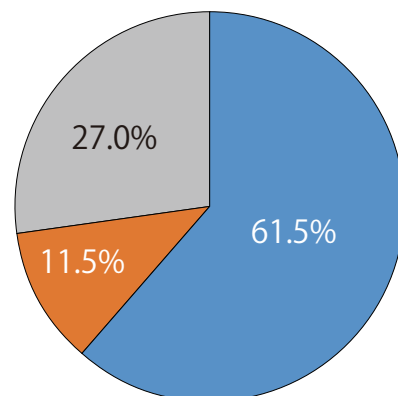
質問2-1：あなたは夫婦別姓について次のどの立場ですか。

		件数	割合(%)
1	夫婦は同姓の方が良いと思う	49	14.8
2	別姓・同姓を選択できると良いと思う	281	85.2
	計	330	100.0



質問3：仕事や学業の中で名字にまつわる弊害は存在すると思いますか。

		件数	割合(%)
1	存在する	203	61.5
2	存在しない	38	11.5
3	どちらともいえない	89	27.0
	計	330	100.0



質問5-2：(結婚された方へ) 改姓した際(あるいはしなかった際)、下記よりお立場をお選びください。

		件数	割合(%)
1	改姓した人	210	63.6
2	改姓したけど、旧姓も使っている人	41	12.4
3	2つの姓を並べて使っている人	0	0.0
4	改姓していない(=籍を入れていない)人	26	7.9
5	改姓していない(=夫が改姓した)人	10	3.0
6	無回答	43	13.0
	計	330	100.0

